

令和7年度第1回釜石市介護保険運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和8年2月3日(火) 17時55分から18時50分まで
- 2 場 所 釜石市保健福祉センター9階 研修ホール
- 3 出席委員 小泉委員、久保委員、佐々木憲一郎委員、千葉委員、唐澤委員、平野委員、赤崎委員、小山委員、菊池委員、佐野委員、藤原委員
- 4 欠席委員 佐々木てる子委員
- 5 事務局出席者 保健福祉部 鈴木部長
地域包括ケア推進課 小田島課長、佐野課長補佐、紺田主査、佐野主査
地域包括支援センター 川崎所長
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項 (1) 令和6年度釜石市介護保険事業特別会計の決算状況について(報告)
(2) 釜石市介護保険サービス等の状況について(報告)
(3) 釜石市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 目標指標の達成状況について(報告)
(4) 釜石市介護予防・日常生活支援総合事業者の新規指定・廃止・指定更新について(報告)
(5) その他
- 8 開催経過
 - ・本年度最初の開催に当たり、委員任期の説明と各委員の紹介が行われた。
 - ・委員の互選により小泉委員が会長、千葉委員が副会長に選出され、会長の進行により議事が進行された。
 - ・本日の会議録署名委員に小山委員と菊池委員が指名された。
- 9 開催結果 各協議事項とも事務局報告のとおり了承された。

主な発言は以下のとおり

□ 協議事項(1) 令和6年度釜石市介護保険事業特別会計の決算状況について(報告)

(2) 釜石市介護保険サービス等の状況について(報告)

事務局：運協資料No.1、運協資料No.2に基づき令和6年度の介護保険事業について説明

小泉委員：釜石市は著しい人口減少の中においても介護給付費準備基金を取り崩すことなく介護保険事業が運営されていることが理解できる。

□ 協議事項(3) 釜石市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 目標指標の達成状況について(報告)

事務局：運協資料No.3に基づき、第9期介護保険事業計画の進捗状況について説明

菊池委員：指標「福祉のまちつながりサポーター養成講座」における令和6年度の達成状況62%に対する見解と「見守り支援」の内容を教えてください。

事務局：「福祉のまちつながりサポーター養成講座」は令和5年度に開始された事業で、開始初年度に多くの団体の受講があった。今後も受講者を募集していきたい。「見守り支援」とは、受講者に役割(義務的なもの)を与えるのではなく、気づいて関係機関につなぐ意識を持つことをお願いしている。

佐々木委員：「福祉のまちつながりサポーター養成講座」の募集方法は？

事務局：民生委員、町内会向けの開催のほか釜石市社会福祉協議会による掘り起こし、認知症サポーター養成講座と併せての開催などがある。

佐々木委員：公的な関係者だけでなく、ぜひ民間事業者にも参加してほしい

赤崎委員：社協では各金融機関、郵便局などに呼びかけし受講につなげている。

藤井委員：栗林地区ではチームオレンジとして地域全体で活動し、地域に浸透している。

小泉委員：地域での気づきにつながるよう参加しやすい形で開催してほしい。

事務局：フォローアップ含め対応していきたい。

□ 協議事項(4) 釜石市介護予防・日常生活支援総合事業者の新規指定・廃止・指定更新について(報告)

事務局：運協資料No.4に基づき、釜石市介護予防・日常生活支援総合事業者の新規指定・廃止・指定更新について説明

菊池委員：事業所の廃止理由について具体的に聞きたい。

事務局：介護報酬改定の影響や事業所側の高齢化によるものと伺っている。

□ 協議事項(5) その他

事務局：追加配付資料「釜石市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」に基づき第10期介護保険事業計画策定の見通しについて説明

佐々木委員：地域包括ケアシステムとしては、医療現場が第一線に出るものではなく、栗林地区のように地域でのつながりが重要と考える。釜石市内でも各地域ごとの特性を把握し、行政の主導と民間の活用を併せてコミュニティを形成していくことを期待したい。